



今こそ、換気。

◎冬は夏より換気が必要？

湿度が高いほど飛沫は
せきをした人の上に落ちる。



湿度が低いほど机の上の飛沫は減り、そ
の分小さな飛沫となって空気中を漂う。



空気が乾燥することにより、飛沫の蒸発量が増え、飛沫はより小さくて軽いエアロゾルという形に変化します。このことから、空気が乾燥する冬場は夏以上に室内換気を頻繁に行い、発生したエアロゾルをできるだけ早く室外に逃すことが重要だといえます。

◎効率よく換気しよう！

効率よく換気するポイントは、欄間(教室に上の方にある横長の窓)を開けることです！



欄間を開けると換気効率は4倍になるそうです。また、欄間を開けた場合、二方向の窓をあけることで、換気効率は14倍にもなるそうです。

参考:株式会社ソフトフロー ウイルス対策に有効な窓開け換気方法
<http://www.softflow.jp/tech-form/covid-19-ventilation/> 2023.11.27閲覧

寒い日が続いていますが、「欄間×二方向」を意識してより効率の良い換気を行いましょう。寒さでどうしても換気が難しいときには、1時間に1回、2、3分程度全ての窓を開けるようにして空気の入替えを行うとよいです。登校後の窓開け、下校時の窓閉めなど、声をかけ合って実施していきましょう！

食中毒は夏だけじゃない？

ノロウイルスによる食中毒に注意

ノロウイルスの特徴



- 二枚貝(代表的なものはカキ)などの食べ物から十分火を通さずに食べた人に感染する。
- 感染した人の便や吐物からちりになって空気中を漂うこともできる!
- 潜伏期間は12~48時間
- 症状は吐き気、おう吐、下痢、腹痛、頭痛、発熱

年間の食中毒の患者数の約半分はノロウイルスによるものですが、うち7割は11月から2月に発生します。この時期の感染性胃腸炎の集団発生例の多くはノロウイルスによるものと考えられます。ノロウイルスは、感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいため、注意が必要です。トイレの後や給食の配膳の前には以下のような衛生的な手洗いを行いましょう。

